

森林塾 青水 活動のあゆみ

2016年4月改定

- 2000年 ・ 「森林塾青水」発足(9月)
- 2001年 ・ ワークショップと自然観察会実施
 - ・ 木工教室と「樹種」見本作成
- 2002年 ・ 現代版「入会慣行」を考える集い発足
 - ・ 現地フィールドスタディ実施
- 2003年 ・ 町有林(もと入会地)借受契約締結(4月)
 - ・ フィールドスタディ計6回実施
 - ・ ミズナラ林の毎木調査とススキ草原の森林化調査実施
- 2004年 ・ 現代版「入会慣行」(初版)の作成
 - ・ 野焼きと山の口開け、口終い行事復活(約40年ぶり)
 - ・ 日本の里地里山30保全活動」コンテスト入賞
- 2005年 ・ 麗沢中学「水源の森フィールドスタディ」、川越小学校「里山探検隊」受け入れ(以後、毎年)
 - ・ 「藤原地区地域資源活用調査事業」実施
- 2006年 ・ 木馬道(キンマチ)、古道・青木沢峠の再生
 - ・ 地域間交流事業「茅葺保全観察と茅刈り」ツアー実施
 - ・ 「藤原ガイドマップ」「入山心得」作成
- 2007年 ・ 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
 - ・ 古道・芦ノ田峠を再生
 - ・ 全国草原再生ネットワークに加盟
- 2008年 ・ 「草原再生セミナー」開催
 - ・ 「茅刈り講習会&コンテスト」開催
- 2009年 ・ フットパス地図「青木沢峠」作成
 - ・ 「日・中・韓環境ジャーナリスト・NGO交流会」開催
 - ・ 「多面的価値のある草原を持続的に保全する仕組み」構築(地球環境基金助成事業)
- 2010年 ・ 10周年記念フォーラム「暮らしの現場から生物多様性の保全を考える」開催
 - ・ 第1回「茅刈り検定」開催
 - ・ 日本自然保護協会「沼田賞」受賞
- 2011年 ・ みなかみ町「生物多様性を守るための昆虫等保護条例」の対象地区となる
 - ・ 東日本大震災仮設住宅の屋根断熱材に使う茅の供給
 - ・ 茅買上価格の上乗せに「環境支払」を実施(以後、毎年継続)
 - ・ 割り薪用ミズナラの伐り出しとキノコ原木の伏せ込み実施
 - ・ フットパス地図「芦ノ田峠」作成
- 2012年 ・ 野焼復活後、初の中止 防火帯造りに本格着手
 - ・ 生き物調べの進展→希少種昆虫を多数観察
 - ・ フットパス地図「上ノ原」の作成
 - ・ 「第9回全国草原サミットinになかみ」開催に協働
 - ・ 東洋大学学生フィールドスタディ、林野庁森林技術総合研修所「生物多様性研修」の受け入れ
- 2013年 ・ 野焼き2年連続中止 防火帯作り完成間近に
 - ・ 上ノ原「入会の森」、教育旅行の場としての利用開始
 - ・ 「国際生物多様性の10年日本委員会」連携事業として認定される
- 2014年 ・ 寄附した茅を使っての諏訪神社屋根葺き替え完了
 - ・ 流域連携として理科大学キャンパスでの湿地再生作業に参加
 - ・ 防火帯兼管理道・刈り払い防火帯全線完成
- 2015年 ・ 車座講座を実施
 - ・ 環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」500のうち一つに選定される
 - ・ 高野史郎会員による「スケッチ・オブ・ワンダー」を朝日新聞読者ホールで森林文化協会と共催
 - ・ 上ノ原昆虫調査中間報告

上記の他、2004年度以降、フィールド実践講座「コモンズ村・ふじわら」を年8回シリーズで毎年開催